

荒川流域エコネット地域づくりアクションプラン 取り組みの推進について

—令和5年度 活動結果・令和6年度 活動計画案—

1. プラン①「合同生きもの調査の実施」に関する本年度活動結果
2. プラン②「ゴミ・外来種問題への対応」に関する本年度活動結果
3. プラン③「環境学習・観察会の推進支援」に関する本年度活動結果
4. プラン④「各種広報の展開」に関する本年度活動結果
5. プラン⑤「エコツアーの推進支援」に関する本年度活動結果
6. プラン⑥「関係者間のネットワーク支援」に関する本年度活動結果
7. 地域関係者による本年度取り組み事例（情報共有）
8. 次年度の活動計画・スケジュール（案）



私たちは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています



(1) 目指すもの

プラン①「合同生きもの調査の実施」

◎エリア内の環境データが蓄積され、各種取り組みの検討・実施に役立っていること。

◎また、調査の実施を通じ、取り組み認知度が向上（理解者・賛同者の増加）していること。



(2) 本年度の活動結果（令和5年度）

1) 協議会関係者による生物調査に関する情報の収集・共有

- 主な生物調査の実施状況（令和5年度分）
- ◎鴻巣市： 田んぼの生きものさがし（明用地域）、生きもの調査体験会（川里地域）
- ◎埼玉県生物多様性センター： 埼玉県クビアカツヤカミキリ発見大調査2023、埼玉県地理環境情報WebGISの整備・公開（県内のクビアカツヤカミキリ目撃情報およびアライグマ捕獲地点のマップ化と公開）
- ◎荒川上流河川事務所： 河川水辺の国勢調査 陸上昆虫類調査（荒川上流管内）

2) 合同生きもの調査の推進

① 生きもの調査体験会の開催（詳細結果は次頁のとおり）

- 令和5年6月25日（日）に、吉見町八丁湖公園周辺にて「エコネット生きもの調査体験会」を開催し、エリア内の親子を中心に45名に参加いただいた。
- 本年度はテーマを「里山の環境」とし、八丁湖周辺の河川・水田・森林の生物の採捕・観察を行い、水辺林を生息・繁殖場とする希少な昆虫類をはじめ、多くの動植物を確認した（確認した生物種リストは、右ページに記載する生物データベースに格納した）。
- 本活動をきっかけに、八丁湖周辺環境の保全活動が進み、令和5年12月16日（土）には、官民学の協働による森林保全活動（野鳥観察や下草刈り等）が実施されることとなった。



水田調査体験



里山生物観察



河川調査体験

② 水田の動物量調査の普及検討

- 水田調査の普及のため、上記体験会にて、調査手法の手引きPDFや動画youtubeの広報（QRコード展示）を実施した。
- 水田調査を実施させていただける新たな場所について情報提供をお願いした。
- ⇒推薦いただいた鴻巣市川里地域の湿地環境整備地にて開催された「水辺の生きもの調査体験会in川里（令和5年8月19日／主催：鴻巣市コウノトリ野生復帰センター）」を取材させていただき、参加者（地域の高校生等）にエコネット資料の配付を行った。



鴻巣市 川里地域で実施された調査体験会

3) 流域生物データベースの構築

エリア内で地域関係者が行う生物調査の実施に関する情報を、昨年度から引き続き今年度もデータ収集を行った。市民調査やニュースレター、環境学習資料等に活用することを想定し、引き続き検討する。

① データ収集

- 協議会関係者（生きもの調査体験会等）からご提供いただいた生物調査に関する情報に加え、平成元年以降の一般公開されている生物情報を収集した。

② データベースの構造

- 調査年月日、調査年代、原典文献名、調査名、目名、科名、種名、原典位置（緯度経度や地名等）、市町名、その他各原典に記載のある情報（個体数、確認状況等）を格納※参照1する。併せて原典位置情報から算出した10km×10kmの範囲（2次メッシュ）及び1km×1kmの範囲（3次メッシュ）を追記することで、メッシュ表示※参照2が可能となる。メッシュ表示のメリットは、地域の特性や傾向を視覚的に把握しやすい表示であることや、希少動植物の保護の観点から重要種等は詳細位置を示さず、情報を共有することができる。

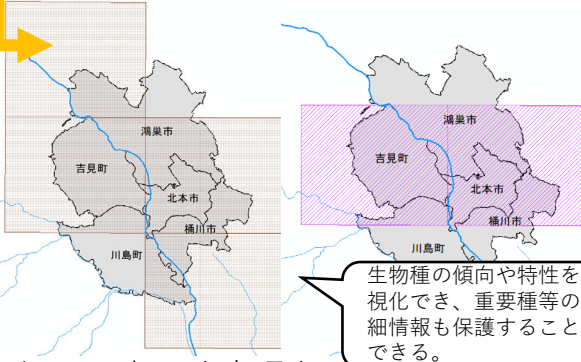
※参照1 データベース（Excel）

id	目名	科名	種名	調査年度	調査月	調査位置	2次メッシュ	調査名	文献名	年代	備考
1	チョウ目	シジミチョウ科	ミドリシジミ	平成4年	1992	6-43913	6-43913	自然環境保全基礎調査	動物分布図集（鳥類以外）	H1~H10	
2	チョウ目	シジミチョウ科	ミドリシジミ	平成4年	1992	6-43913	6-43913	自然環境保全基礎調査	動物分布図集（鳥類以外）	H1~H10	
3	チョウ目	シジミチョウ科	ミドリシジミ	平成4年	1992	6-43913	6-43913	自然環境保全基礎調査	動物分布図集（鳥類以外）	H1~H10	
4	チョウ目	シジミチョウ科	ミドリシジミ	令和5年	2023	6-43904	6-43904	生きものマップ	北本自然観察公園ホームページ	R1~	
5	チョウ目	シジミチョウ科	ミドリシジミ	令和5年	2023	6-43903	6-43903	吉見町調査体験会採集結果	吉見町調査体験会採集結果	R1~	

※参照2 メッシュ番号（2次メッシュ）による表示（ミドリシジミ）

平成元年～平成10年

令和元年～



生物種の傾向や特性を可視化でき、重要種等の詳細情報も保護することができる。

③ アウトプットイメージ

- 既往調査等で確認された生物種リストの作成。
- メッシュ番号を活用し、特定のエリア内の生物種の確認状況や特定の種の経年的な傾向を図化する。
- 生物情報と植生データを重ね合わせ、生息・生育環境の関連性を示す。

④ 今年度の成果およびデータベース活用案

- 令和5年度は、河川水辺の国勢調査、動物分布図集・ガンカモ類の生息調査（環境省生物多様性センター）等の生物情報を追加収集した。
- データベースの収集により、情報が一元化された。これにより調査情報が不足している種が把握可能となり、重点的な調査を実施できる。また、特定地域の情報からイベントの開催のベースとなる情報を提供できる。さらに、民間アプリ会社を活用し、企画を行うことで、イベント・調査への住民参加、データベースへの情報の補完を一体的に実施するための基礎ツールとなる。

既往事例：「農業×生き物 小川町で宝探し」農業とそこに住む生き物をテーマにした対象種のうち10種投稿するとクエストクリアとなる。

4) 取り組み評価（進捗確認）

本取り組みの進捗について、令和4年度に設定した評価のめやすに照らし合わせて確認した。（なお、評価年は中間年：令和7(2025)年、目標年：令和12(2030)年に設定されている。）

評価軸	R3	R4	R5	備考
調査体験会の実施回数・参加者数	0回 0人	1回 33人	1回 45人	市町・団体で開催された調査体験会の回数等も参考値※として記録しておく。
生物データベースの蓄積	0件	3件 格納	15件 格納	格納した調査報告書の数、種数、地点数を記録しておく。
取り組みの認知度（理解者・賛同者）	—	69/212人 32.5%	181/532人 34.0%	アンケート調査より「関東にコウノトリが飛んでいると知っている」人の割合

※5市町内の調査会等の実施状況（令和5年度）： 鴻巣コウノトリを育む会（観察会2回）、鴻巣市天空の里（調査体験会2回）、吉見町（親子自然観察会1回）

1

【令和5年度エコネット生きもの調査体験会（吉見町八丁湖周辺）開催結果】

- 日 時： 令和5年6月25日（日） 午前の部 9:30～12:00 / 午後の部 13:00～15:30
- 場 所： 吉見町 八丁湖周辺（黒岩地域水田～八丁湖公園内）
- 参加者： 一般公募による地域の親子など 4 4 名（大人 2 4 名, 子ども 2 0 名） ※約60名参加予定のところ 協議会関係者 5 名、事務局運営スタッフ 8 名
- 主 催： 吉見町・荒川流域エコネット地域づくり推進協議会（事務局：荒川上流河川事務所）
- 目 的： 荒川流域エリアにおける、コウノトリ等の多様な生物の生息場づくりの推進を目的として、広く地域関係者を対象に、里山の生物多様性をテーマに、森林・湖沼（八丁湖公園）、水田（吉見町黒岩地区）、河川（荒川）に生息する水生生物、およびその生息場の連続性（生態系ネットワーク）の大切さについて、現地体験しながら学ぶ学習会を企画・運営した。
- プログラム（各回 2.5 時間）

項目	内容	場所
①環境学習	◎川や田んぼなど里山の生きものについて（コウノトリや生態系ネットワークに関する解説）	会場
②水田調査体験	◎水田の生きもの探し（参加者による水生生物採捕） ◎田んぼの生きもの解説	黒岩地域 水田
③里山生物観察	◎植物や昆虫類を観察しながら八丁湖公園内を散策 ◎里山の生きもの解説（ミドリシジミ等）	八丁湖 公園内
④河川調査体験	◎荒川中流部の水生生物の採捕（参加者が魚類等を採捕し、図鑑で名前を調べる）	会場
⑤結果まとめ	◎今日の記録まとめ（河川生物については採捕種リストを作成。リストから、田んぼと水路を行き来する種、外来種や希少種等について解説）	会場
⑥工作等	◎観察した生物をスケッチした缶バッジの作成 ◎アンケートのお願い	会場

【当日観察できた主な水生生物（希少種は表示していません）】

●水田・水路（吉見町黒岩地域）：ヒメガムシ、ヒメゲンゴロウ、コシマゲンゴロウ、ハイロゲンゴロウ、ヌマガエル、ニホンアマガエル、ホウネンエビ、アメリカザリガニ

●里山（八丁湖公園内）：ハグロトンボ、コシアキトンボ、クヌギカメムシ、タマムシ、ヨツスジハナカミキリ、ノコギリクワガタ、アカボシゴマダラ、ショウリョウバッタ、ナナフシモドキ、オオカマキリ、マメコガネ

●河川（荒川大間地区）：コイ、ギンブナ、ゲンゴロウブナ、オイカワ、アブラハヤ、タイリクバラタナゴ、モツゴ、タモロコ、ニゴイ、ナマズ



●アンケート結果（回答数：36票）

問1) お住まいはどこですか？

埼玉県外

5.6%

鴻巣市

19.4%

吉見町

19.4%

その他の市町村（埼玉県内）

55.6%

※さいたま市、入間市、嵐山町 など

問2) ここ「天空の里」以外で、ほんもののコウノトリを見たことはありますか？

ある

13.9%

ない

86.1%

問3) 関東地方の空にコウノトリが飛んでいることを知っていましたか？

知っていた

38.9%

知らなかった（今日初めて知った）

61.1%

問4) 今日の活動のなかで楽しめたことを教えてください（複数回答あり）

環境学習

19

田んぼの調査体験

34

八丁湖の生物観察

26

川の調査体験

24

缶バッジの作成

17

楽しめるものはなかった

0

無回答

0

問5) 今後、参加してみたい活動を教えてください（複数回答あり）

環境学習

7

水田の生きもの調査体験

31

コウノトリの学習

5

自然観察

16

魚道の見学

13

工作

15

荒川などの清掃活動

9

外来種の駆除活動

14

特になし

1

その他

0

無回答

0

問6) 荒川流域（荒川や周辺市町）の情報で知りたいものを教えてください。（複数回答あり）

荒川の生きもの

26

荒川外来種の種類や対策

13

荒川のゴミ問題

8

荒川流域の観光・イベント

14

荒川の歴史や特産品

9

特になし

1

その他

0

無回答

1

問7) その他、感想・ご意見など。

●さいたま県には自然が平地の方にはないのかと思っていましたが、とてもたくさんの自然があることを学びました。そしてその自然を守っていききたいと思いました。／●草花や虫にとっても詳しい方々に話を聞いて、たのしかったです。／●自分達の住んでいる町で色々な生き物が見つけられて楽しかったです！！子どもにとって良い刺激になりました！！／●八丁湖をよく歩くので違った見方が出来おもしろかったです。／●植物や生き物などすごく詳しい方にお話を伺って、とてもたのしかったです。又、それぞれの活動も興味深かったです。／●田んぼや八丁湖などの自然の中で、実際の生き物を見ることができて、子どもが楽しそうにしていたので、とても有意義な時間を過ごせました。事前に生き物をとっておいてくれたので、万が一当日に生き物がとれなくても生き物の観察ができるので、そういった配慮も良かったと思います。色々準備等大変だったとは思いますが、ありがとうございました。／●はじめて知ったことやいろいろな魚が見れてとてもたのしかったです。／●「いろんな虫がつかまえてよかった」／●いろいろな生きものが見れてうれしかった。／●「川あそびを時々するけれど、あまり魚など見ないのでふしぎだった」とのことです。／●子供がとても楽しく学べてよかったです。また参加したいです。／●子供にとって、貴重な体験が出来たと思います。ありがとうございました。／●本日は大変お世話になりました。田んぼ、川、生物観察と色々体験できて、娘も楽しかったみたいです。ありがとうございました。／●2歳児のペースにも合わせていただき、本人も楽しそうに過ごしていました。ありがとうございました。／●はじめて参加させて頂きましたが、楽しかったです。スタッフの方々も親切でありがとうございました。／●丁寧に色々説明していただきありがとうございました。／●ありがとうございました。／●楽しかった。／●子供が楽しめたので、とても良かったです。／●スタッフの方も親切に教えて下さいました。

八丁湖保全活動の展開... **吉見町・民間企業の協働による森林保護活動**

【吉見町×コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社「森に学ぼう」プロジェクト】

●令和5年12月16日（土）吉見町 八丁湖公園内

●参加者：約100名

吉見町と「包括連携に関する協定」を締結し、SDG s 推進や健康・スポーツ促進など多岐にわたる分野で行政・企業連携により取り組むコカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社との協働による取り組み。

●体験プログラム：自然観測会（野鳥観察）、ミドリシジミの生息地学習及び環境保全（下草刈り体験時に当協議会スタッフが補助として植物に関する解説を実施）、木の実クラフト、蒔き割り、ツリークライミング

●学習プログラム：森と水のはなし（講師：コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社）、生物多様性のはなし（講師：当推進協議会スタッフ）

(1) 目指すもの

プラン②「ゴミ・外来種問題への対応」

◎エリア内において、環境美化活動とともに、外来種駆除活動が実施（実施回数・場所の増加）されるようになること。



(2) 本年度の活動結果（令和5年度）

1) 協議会関係者による対策情報の収集・共有

- 主なごみ・外来種対策の実施状況（令和5年度分）※一部中止行事を含む
 - ◎春の清掃活動： 鴻巣市内美化活動（市内各地）、榎戸堰公園清掃活動（鴻巣市榎戸）、北本春の美化活動（市内全域）、よしみ清掃ウォーク（吉見百穴周辺）
 - ◎秋の清掃活動： クリーンおけがわ清掃活動（桶川市内全域）、吉見中学校美化ボランティア活動（吉見町下細谷）、荒川クリーン協議会清掃活動（鴻巣市、北本市、桶川市、川島町、吉見町）
 - ◎外来種対策： 埼玉県地理環境情報WebGISの整備・公開（県内のクビアカツヤカミキリ目撃情報およびアライグマ捕獲地点のマップ化と公開）／スクミリンゴガイ駆除会（吉見町江和井）／特定外来生物アライグマやオオキンケイギク等への対応（国県市町）

2) ゴミ・外来種対策の地域連携による促進

- 協議会関係者の実施する清掃・外来種対策（上記1）において、本協議会で検討・作成したプラスチックごみ削減や外来種問題に関する資料等を活用した啓発活動を行った。
 - ◎北本市〔4月〕市内清掃活動における外来種パンフレットの配布（約100部）
 - ◎鴻巣市〔5月〕市民団体による河川周辺清掃（榎戸堰公園）における外来種パンフレットの配布（約50部）
 - ◎鴻巣市〔5月・10月・1月〕こうのと里マルシェ（天空の里）における外来種パンフレット配布（約85部）、およびプラごみ・外来種問題啓発用教材の展示
 - ◎吉見町〔5月・11月〕よしみ環境フェア・よしみ環境まつり（吉見町図書交流館周辺）における外来種パンフレット配布（約100部）、およびプラごみ啓発教材の展示
 - ◎吉見町〔5月〕公民館×企業連携 清掃ウォーキング（吉見百穴周辺）における外来種パンフレット配布（約30部）
 - ◎吉見町〔5～6月〕地球温暖化防止パネル展（ぶらっとよしみ）における外来種パンフレット配布（約30部）
 - ◎吉見町〔7月〕スクミリンゴガイ駆除活動（吉見町江和井地域）における外来種パンフレット配布（約45部）
 - ◎吉見町〔10月〕吉見中学校美化ボランティア活動における外来種パンフレット配布（約120部）
 - ◎吉見町〔12月〕「森に学ぼう」プロジェクトにおける外来種パンフレット配布（約50部）
 - ◎埼玉県・イオンモール上尾〔11月〕SAITAMA環境フェア&こどもエコフェスティバル（イオンモール上尾・AGEO PARK）における外来種パンフレット配布（約100部）、およびプラごみ・外来種問題啓発用教材の展示
 - ◎鴻巣市・北本市・桶川市・川島町・吉見町〔10月〕荒川クリーン活動への参加



――プラスチックごみ・外来種問題について考える啓発教材の展示（R5実施状況例）――



――地域の清掃・外来種駆除活動への参加および啓発資料の配付（R5実施状況例）――

3) ゴミ・外来種対策の連携促進に向けた対策検討

- 今後、荒川流域エリアにおいて、さらに地域連携によるゴミ・外来種対策を推進していくために効果的な対策について検討した。
 - ①プラスチックごみ問題の啓発促進（教材の改良等）
 - ⇒プラスチックごみ問題啓発用教材について、昨年度の協議会指摘「各市町のごみ出しマナーと混合しないようにすべき」を踏まえ、教材を分かりやすく改良した。（協議会ブース出展においては、埼玉県水環境課の海洋プラスチックごみ問題啓発用リーフレット『プラスチックを流さない!』を配布した啓発を推進中。）
 - ②外来種問題の啓発促進（資料の更新、教材の新規作成等）
 - ⇒昨年度の協議会指摘「ペット遺棄防止の啓発を行うべき」を踏まえ、アメリカザリガニ、アカミミガメ類やメダカ類を含むペット問題の啓発を行った。（外来種パンフレットの更新、および協議会ブース出展において、条件付特定外来生物啓発ポスター（環境省）を展示するなどの啓発を推進中。）
 - ⇒本年度のWG指摘「外来種をワルモノにせずに自ら考えることを促す啓発を行うべき」を踏まえ、荒川でみられる外来種の侵入由来を学び、自分でできる外来種対策を考えることを促す釣りゲーム型教材を作成した。
 - ⇒上記を関連市町の環境行事で展示・使用するとともに、吉見町内の小学校4年生への出前講座に活用し、外来種問題に関する体験型学習を行った（吉見町環境課と連携）。

【改良・プラごみ啓発教材の活用】

ごみ袋型の旧デザイン（家庭ごみ分別方法の誤解を生じやすい）から、プラ製品はどれかを識別し、川に流さないというメッセージを伝えることに特化した新デザイン（次ページ参照）に更新

体験いただいた皆さんの声（抜粋）

- 身の回りにプラ製品が多いことを改めて感じる事ができた。／●うちでのごみの仕分けががんばりたい。／●不織布マスクはオムツと同じだからプラだろうと推測して当てることができました。／●前回楽しかったのでまた来ました。●外来種版が増えてうれしい。鴻巣の食べ物・特産品などの新しい釣りゲームが追加されるといい。

（R5鴻巣市こうのと里マルシェ、SAITAMA環境フェア等）

【新・外来種啓発教材の活用】

- R5.9.26 吉見町立小学校4年生
- 吉見町環境課 出前講座「豊かな自然のあるまちへ：いまできることから始めてみよう（生物多様性と外来種）」

講座のあとの児童らの声（抜粋）

- ペットを飼ってからじゃなくて、飼う前に考えないとけないんだとわかった。／●外来種のことなどをもっと知りたい。／●外来種がつれてこられた理由はひとつじゃないことがわかった。／●クイズはおもしろかったけど、むづかしかった。／●川に生きものが少ないので、もっとふえてほしい。

その他、体験いただいた皆さんの声（抜粋）

- ほんとのおうちにいられない外来種がかわいそう。／●ウシガエルはよくみるから、外来種だとは知らなかった。／●名前で外国から来たと思当つけられるものもあった。／●勉強になった。

（R5 鴻巣市こうのと里マルシェ等）



4) 取り組み評価（進捗確認）

本取り組みの進捗について、令和4年度に設定した評価のめやすに照らし合わせて確認した。（なお、評価年は中間年：令和7(2025)年、目標年：令和12(2030)年に設定されている。）

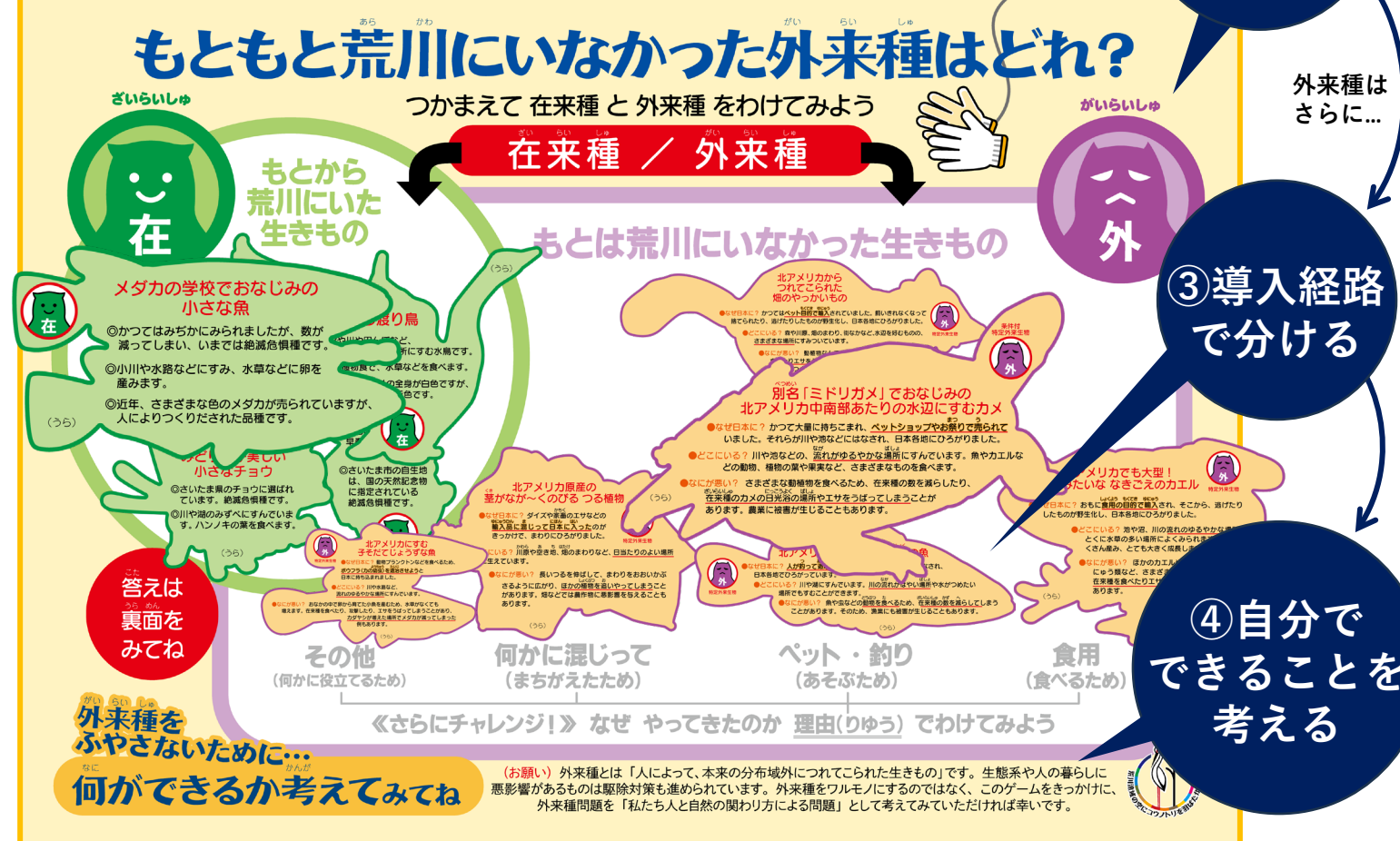
評価軸	R3	R4	R5	備考
外来種啓発用チラシの活用状況（配布行事・配布枚数）	0回 0人	7回 2種760枚	10回 1種665枚	市町・団体で開催された外来種対策の回数等も参考値※として記録しておく。
プラごみ・外来種教材活用状況（使用行事数）	0件	1件	6件	使用された人の意見・感想なども把握しておく。

※5市町内の外来種対策の実施状況（令和5年度）： 鴻巣コウノトリを育む会（2回）、吉見町（スクミリンゴガイ駆除会1回）、埼玉県生物多様性センター（特定外来生物に関する情報発信）、アライグマやアレチウリ等特定外来生物の防除（国・県・市町にて適宜）

外来種啓発教材「荒川に外来種がいるなぞをさがそう！」



在来種は生息場特性などの生態情報が、外来種はそれに加えて国内への侵入経路が書いてあります→



(1) 目指すもの

プラン③「環境学習・観察会の推進支援」

◎エリア内において、環境学習・自然観察会が、いまより
広く・数多く実施され、地域の学習機会が増えていること。

◎また、それにより取り組み認知度が向上（理解者・賛同
者の増加）していること。



4
質の高い教育を
みんなに

(2) 本年度の活動結果（令和5年度）

1) 協議会関係者による行事情報の収集・共有

- 主な環境学習・観察会の実施状況（令和5年度分）※中止や今後の予定を含む
- ◎鴻巣市コウノトリ野生復帰センター：田んぼの生きものさがし（R5.7.29 明用地内）、夜の生きものさがし（R5.8.5 荒川河川敷）、水辺の生きもの調査体験会（R5.8.19 川里地域）、コウノトリクエスト（R5.7.21～8.28 天空の里）
 - ◎北本市：森林セラピー体験ツアーの定期開催等（北本自然観察公園）北本市観光協会
 - ◎桶川市：ホテルの鑑賞会（R5.6 城山公園）NPO法人河川環境基金埼玉中央支部、森のつどい（R5.11 川田谷こどもの森市民緑地）桶川みどりの会、探検！発見！雑木林！ヤマで遊んでみよう（R6.3 川田谷こどもの森市民緑地）桶川市環境対策推進課
 - ◎吉見町：吉見町地球温暖化防止パネル展2023（R5.5.27-6.18 ぶらっとよしみ）吉見町環境課、親子自然観察会（R5.7.22 市野川河川敷）吉見町生涯学習課、吉見町立小学校 出前講座（R5.9.26）吉見町環境課
 - ◎埼玉県環境科学国際センター：2023夏休み特別企画（R5.7.15-8.20）、シルバーウィーク特別企画（r5.9.16-9.25）…環境に関する講座や自然観察会、リサイクル工作など
 - ◎鴻巣ここのとりを育む会：見学会&セミナー コウノトリのことをもっと知ろう（R5.11.11 天空の里ほか）埼玉県生物多様性センター・NPO法人いろいろ生きものネット埼玉・NPO法人鴻巣ここのとりを育む会

2) 環境学習の推進支援（市町・団体活動との連携）

- 協議会関係者の実施する観察会や学習施設等（上記1）において、本協議会で作成したコウノトリや生物多様性についてとりまとめた資料の配布・展示などの学習支援を行った。
- ※資料とともに保全意識醸成のために配布している指標種缶バッジは、（昨年までコウノトリ1種類であったが、）5市町の自然をイメージした種を加えた計5種類に更新した。

- ◎吉見町〔5～6月〕地球温暖化防止パネル展2023（ぶらっとよしみ）コウノトリ生態紹介ポスター等展示
- ◎吉見町〔5月〕よしみ環境フェア（ぶらっとよしみ周辺）コウノトリ生態紹介ポスター等展示
- ◎鴻巣市〔5月・10月・1月〕ここのとりマルシェ（天空の里）コウノトリ生態紹介ポスター等展示
- ◎埼玉県環境科学国際センター〔9月〕シルバーウィーク特別企画（埼玉県生物多様性センター）コウノトリ生態紹介ポスター、田んぼと川のネットワーク解説ポスター等展示
- ◎埼玉県・イオンモール上尾〔11月〕SAITAMA環境フェア&こどもエコフェスティバル（AGEO PARK）コウノトリ生態紹介ポスター、生物多様性解説ポスター等展示
- ◎吉見町〔12月〕「森に学ぼう」プロジェクトin埼玉 よしみ（八丁湖公園）生物多様性解説ポスター等展示



地球温暖化防止パネル展（吉見町）



よしみ環境フェア（吉見町）



埼玉県生物多様性センター（加須市）

指標種
缶バッジ
(新5種)

協議会関係者限定
イラストフリー使用
サービス試行中

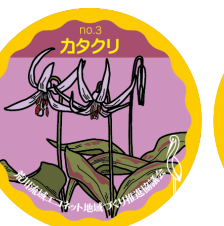
鴻巣市において
野生復帰の取り組み



埼玉県のチョウ
吉見町や川島町等の
湿性林に生息



高尾カタクリ自生は
北本市指定天然記念物



埼玉県の花
桶川市・江川下流域
の湿地に生育



冬にみられる渡り鳥
川島町・越辺川等
に飛来



3) 学校教育と連携したエコネット学習の推進

5市町の公立小中学校（校長会へご提案）を対象に以下の提案を行った。結果、小中学校計33校へのコウノトリポスター掲示、および小学校24校・中学校1校の合計およそ1,300人の児童・生徒へコウノトリ缶バッジ・生物多様性解説リーフレットの配付を実施できた。

なお、生物多様性約リーフレットは裏面に自宅に持ち帰った児童・生徒が任意で回答できるWEBアンケート（生物多様性の認知度等を問う）用のQRコードを付けた（集計結果は次頁）。

①【お願い】小学校1学年（4年生程度）を対象
「コウノトリ缶バッジ」と「生物多様性解説リーフレット」の配付



直径38mmのバッジ。ご要望により針がないマグネット型に変更



リーフレット内容は次頁のとおり
裏面はアンケート→

②【お願い】全小中学校を対象
コウノトリ生態解説ポスターの掲示



A1サイズ（594×841mm）のポスター（R4年度作成）

エリア内小中学校におけるエコネット学習支援資料の配付状況（R5年度分）

学校名	配付数		学校名	配付数		学校名	配付数			
	①	②		①	②		①	②		
鴻巣市 鴻巣東小学校	6	0	1	鴻巣市 小谷小学校	3	0	1	鴻巣市 鴻巣中学校	—	1
鴻巣市 鴻巣南小学校	7	0	1	鴻巣市 下忍小学校	1	0	1	鴻巣市 鴻巣北中学校	—	1
鴻巣市 馬室小学校	6	0	1	鴻巣市 大芦小学校	3	5	1	鴻巣市 鴻巣西中学校	—	1
鴻巣市 田間宮小学校	9	5	1	鴻巣市 屈巣小学校	4	5	1	鴻巣市 鴻巣南中学校	—	1
鴻巣市 箕田小学校	6	0	1	鴻巣市 共和小学校	3	0	1	鴻巣市 赤見台中学校	—	1
鴻巣市 常光小学校	3	0	1	鴻巣市 広田小学校	5	0	1	鴻巣市 吹上中学校	—	1
鴻巣市 鴻巣北小学校	9	0	1	吉見町 東第一小学校	3	5	1	鴻巣市 吹上北中学校	—	1
鴻巣市 松原小学校	8	5	1	吉見町 東第二小学校	1	0	1	鴻巣市 川里中学校	—	1
鴻巣市 赤見台第一小学校	5	5	1	吉見町 南小学校	3	0	1	吉見町 吉見中学校	1	2
鴻巣市 赤見台第二小学校	5	0	1	吉見町 西小学校	2	0	1			
鴻巣市 鴻巣中央小学校	7	5	1	吉見町 北小学校	2	0	1			
鴻巣市 吹上小学校	1	1	5	1	吉見町 西が丘小学校	1	5	1		

コウノトリ

ってどんな鳥？

※①は小学4年生全児童を対象に配付（吉見中学校は3年生）した。上記配付数は予備を含めたおよその数



鴻巣市 小学校内ポスター掲示



吉見町 東第二小学校



→ 掲示しているポスター

4) 取り組み評価（進捗確認）

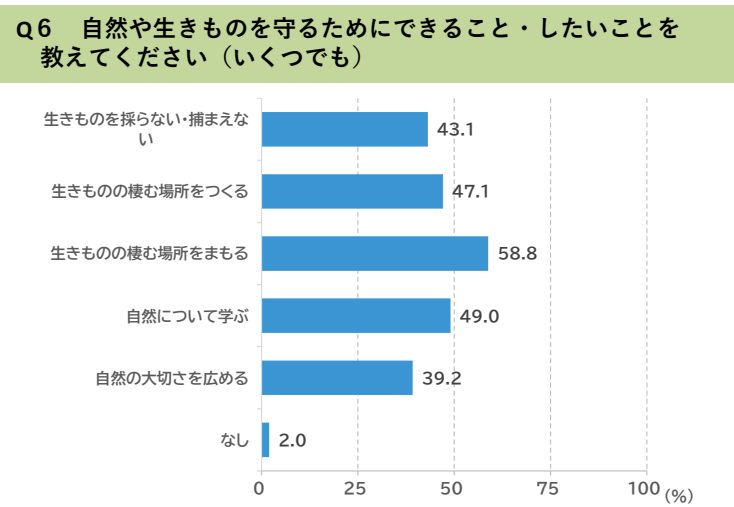
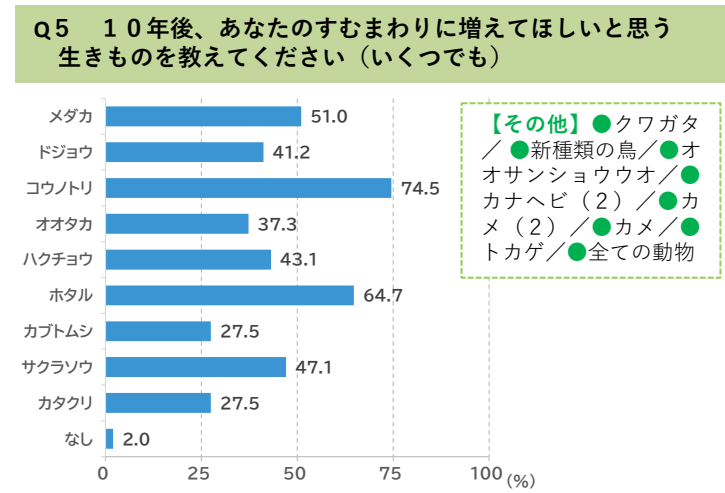
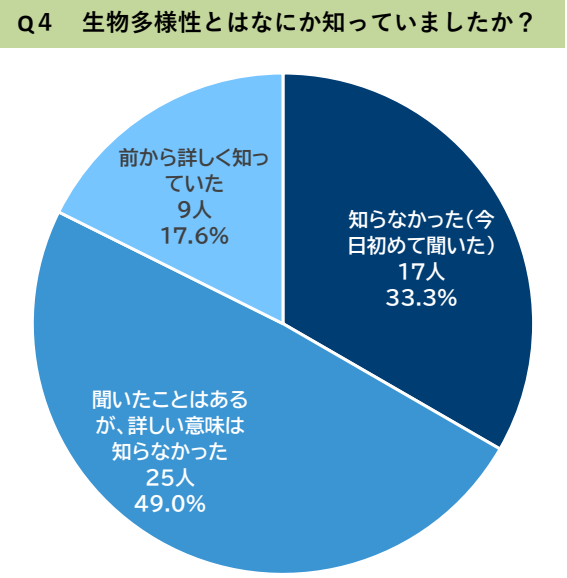
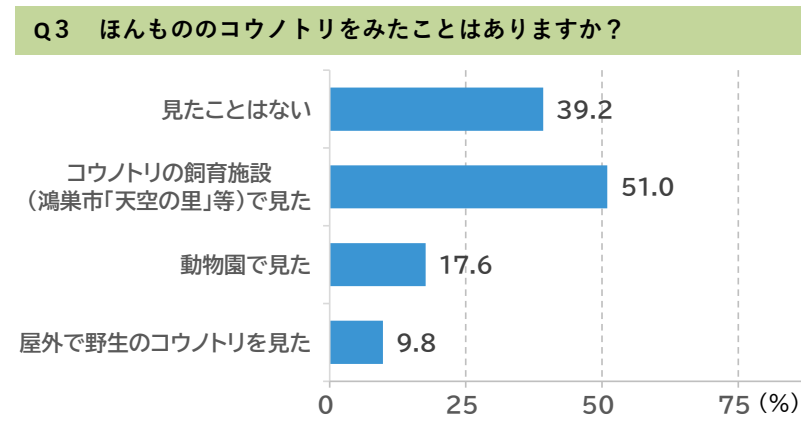
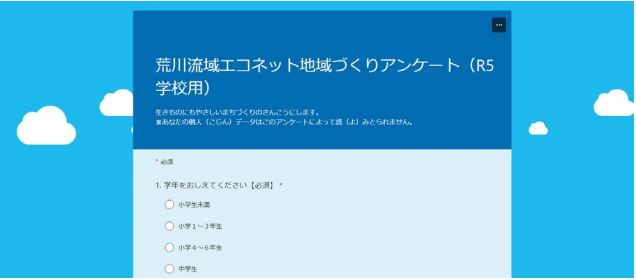
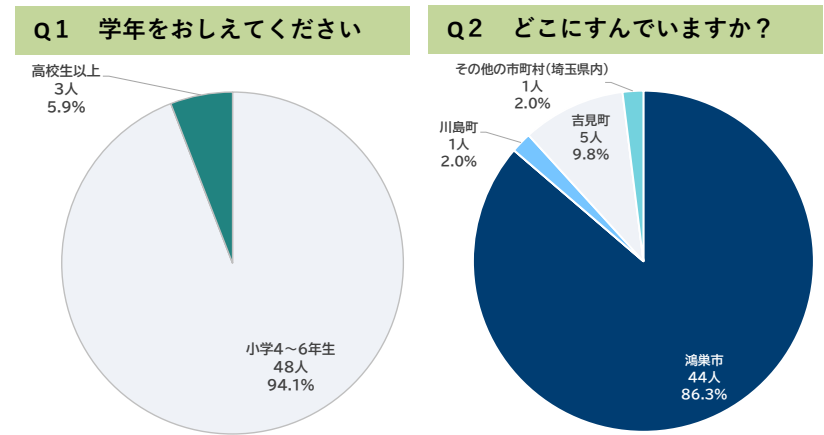
本取り組みの進捗について、令和4年度に設定した評価のめやすに照らし合わせて確認した。（なお、評価年は中間年：令和7(2025)年、目標年：令和12(2030)年に設定されている。）

評価軸	R3	R4	R5	備考
コウノトリ生態紹介ポスターの掲示数	0枚	4箇所 4枚	40箇所 40枚	市町・団体で開催された環境学習等の回数も参考値※として記録しておく。
取り組みの認知度（理解者・賛同者）	—	69/212人 32.5%	181/532人 34.0%	アンケート調査より「関東にコウノトリが飛んでいると知っている」人の割合

※5市町内の観察会等の実施状況（令和5年度）： 鴻巣コウノトリを育む会（観察会2回）、鴻巣市天空の里（調査体験会2回）、吉見町（親子自然観察会1回）、埼玉県環境科学国際センター（特別企画2回）、埼玉県自然学習センター（定例自然観察会 毎週末）

【小中学校用アンケート結果（令和5年度 時点集計）】

- 形 式： アクションプラン④「環境学習・観察会の推進支援」の一環として、流域エリア内の小学生を主たる対象として配布する生物多様性・エコネットに関する解説用リーフレット裏面に各自端末から任意回答できるようQRコードを付して配付しているもの。
- 目 的： 取り組みの効果（生物多様性に関する認知度向上の度合い）を図るもの。また、取り組みの次代を担う子どもたちの環境ニーズを把握するために実施するもの。（2023年開始。2025年中間評価年に見直しを図る予定とする）
- 対 象： エリア内の小中学生、および教員・保護者等（生物多様性解説リーフレットを受け取った人）
- 回答数： 51票（2024.1時点）



【自由回答欄】 ●動物のためにもゴミ拾いをしていきたいです。未来では、動物に住みやすい環境になるといいなと思います。／●コウノトリのことが知りたいです／●しっかりゴミ拾いをしたいと思いました。自然をもっと大切にしていきたいです／●ゴミはごみ箱以外に捨てない！／●人間が環境を悪くしてしまった。／●もっと外来しゅなどの事をもっと知りたいです。／●あまりゴミをださないようにする。ゴミを見つけたら拾ってすて。／●ごみをなるべく拾えるようにしたい。／●今川にいる生き物が少ないのでもっとふえてほしいです

エコネットってなに？

自然と共生する地域づくり

みんなであら考えよう！

生物多様性はなぜ大切？

- 「生物多様性」とは、生きものの豊かな個性とつながりのこと。私たち人を含め、生きものは、長い生命の歴史のなかで、さまざまな環境に適応して進化し、関わり合いながら生きています。
- とくに私たちは、川から食料や水を与えてもらったり、森による気候調整によって守られたりと、自然からさまざまな恵み「生態系サービス」を受けて生活しています。
- 「生物多様性」は、こうした日々の豊かさや安全暮らしに欠かせない生態系サービスを支えている、**私たちにとってかけがえのないもの**です。

生物多様性

遺伝子の多様性

種の多様性

生態系の多様性

自然の恵み(例)

食料を与える

災害を減らす

文化を育む

“かけがえのないもの”をどうやって守る？

エコロジカル・ネットワーク

自然のつながり

自然豊かな水辺のネットワークがコウノトリの生活を支えます。

- この大切な「生物多様性」を守るためには、広く、さまざまな場所で、**自然環境の保全・再生**に取り組む必要があります。
- この取り組みを効果的に進めるには、河川・水路・水田・森林・公園などの自然地をつなげる「エコロジカル・ネットワーク」の考え方が重要です。
- 自然地のつながりを強くする**方法はいろいろで、例えば、自然地どうしをむすぶだけでなく、それぞれの自然地を大きくしたり、たくさんつくるのが効果的です。

自然豊かな水辺のネットワークがコウノトリの生活を支えます。

これらの環境がつながっている・たくさんある・ちかくにあることで、さまざまな水辺の生物が生き・生育できるようになります。

湿地

水田

樹林

草地

河川

魚やエビ・カニ類などを食べるエサ場

魚やカエル類などを食べるエサ場

ねぐらや子育てに利用

バッタ類や爬虫類などを食べるエサ場

魚類やエビ・カニ類などを食べるエサ場

産卵

ふ化

子育て

巣立ち

分散

造巣

卵はオス・メス交互に温める

ヒナが生まれる

親鳥がエサをはこぶ

幼鳥が巣立ちエサを探しだす

巣立ち後はしばらくは巣のまわりで親子ですごします

幼鳥は遠くへ飛び立つ

非繁殖期

繁殖期

春(3～5月ごろ)

夏(6～8月ごろ)

秋(9～11月ごろ)

冬(12～翌2月ごろ)

荒川流域の河川・水路・水田・森林・公園など多種多様な「自然豊かな場所」を守るには、さまざまな人・たくさんの力が必要です。自然を守るためにできることはないでしょうか… ぜひ、皆さんも、考えて・行動してみてください

協議会関係者限定フリー使用サービス試行中（推進協議会ポータルサイト「広報資料」ページから素材ダウンロード用URLを取得してください）

6

(1) 目指すもの

プラン④「各種広報の展開」

◎エリア内において、取り組み認知度が向上し、荒川流域エコネット地域づくりへの新たな理解者・賛同者・参加者が増えていること。



17パートナーシップで目標を達成しよう

(2) 本年度の活動結果（令和5年度）

※本年度までに作成した広報資料や活動履歴等の詳細は、推進協議会ポータルサイトに掲載【次ページ参照】

1) 広報資料活用

- ・取り組み認知度向上のため、流域関係者の協力のもと、イベント等への出展・参加及び広報資料の展示・配布を行った。
- ・推進協議会委員等からのご意見を踏まえて新規作成した広報資料もイベント等で活用した。



2) 荒川流域エコネット地域づくりに関する情報発信

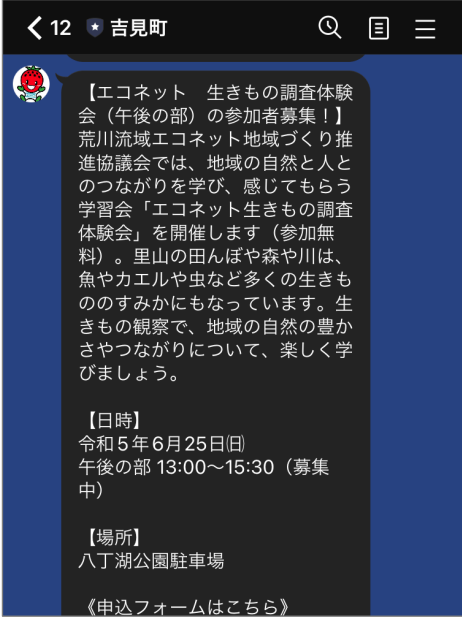
- ・イベント等でのアンケート調査結果において、情報を得るツールとして「ホームページ」と回答する方が多かった（P9参照）ことから、2月22日より推進協議会ポータルサイトを一般公開して情報発信を開始予定。
- ・各自治体・団体等の施設や広報媒体で情報発信いただいた。
- ・令和4年度に加入した「埼玉県SDGs官民連携プラットフォーム」を活用して、メールマガジンや埼玉県公式アプリ「エスキューブ」で生きものの調査体験会参加者募集の情報発信を行った。



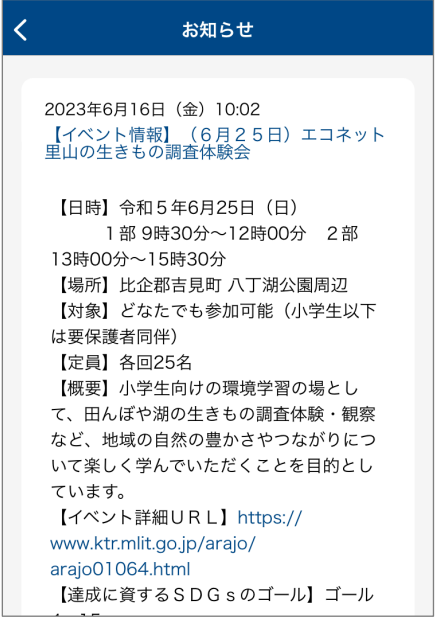
加須市「埼玉県環境科学国際センター」



上尾市「アリオ上尾」



吉見町公式LINEからの情報発信
(生きもの調査体験会参加者募集)



埼玉県公式アプリ「エスキューブ」からの情報発信
(生きもの調査体験会参加者募集)

3) 流域住民アンケート調査実施

・アクションプランの評価指標とするため、計画に基づきアンケート調査を実施した。（P9参照）

◆アンケート調査実施計画（令和5年度～令和7年度）

		1. イベントアンケート	2. チラシアンケート	3. 小学生アンケート (プラン③再掲)	4. WEBアンケート
目的		推進協議会の認知度の他、イベントの評価を把握し、今後の企画へ反映する	WEBアンケート用QRコード付き チラシを持ち帰った方への意識調査	アンケートを通じて荒川流域全体で推進協議会が認知される将来を目指す	中間とりまとめ年度に、これまでの取り組み活動の結果（認知度向上結果）を調査する
対象		推進協議会企画 イベント参加者	チラシ取得者	荒川流域の 小学4年生（1学年）	インターネット モニター
実施方法		イベント参加時に アンケート用紙配布または WEBアンケートを依頼	チラシに掲載した WEBアンケート用QRコードから アクセスして回答いただく	教育委員会を通じて 小学校へアンケート実施を依頼	インターネット調査 (WEBアンケート)
実施時期		主催イベント開催時及び 自治体イベント等での出展時	不定期	1回/年	1回 (令和7年度内)
回収 目標数		未設定 (イベント規模によるため)	100票／年	1,000票	300票
回答特典		缶バッジ	缶バッジ（希望者のみ）	PC・スマートフォン用壁紙	なし
調査 内容	共通	属性（学年・居住地）、コウノトリの認知度、推進協議会の認知度			
	他	イベントの感想、推進協議会 への意見・感想等	ペーパークラフトの感想、推進協 議会への意見・感想等	—	荒川流域への関心、推進協議会 への意見・感想、他

※ 令和5年度第1回エリア・ワーキング時点では1回/2年としていたが、中間とりまとめの評価を行うことを目的として、評価年の令和7年度内の実施に変更

4) ニュースレター作成・配信

- ・推進協議会の取り組みを広報するため、令和4年度に作成したニュースレター第1号をイベント等で配布した。
- ・推進協議会関係者からのご意見聴取や流域内のイベント等の取材活動を行いながらニュースレター第2号（案）を作成した。

5) ファイル共有システムの活用方策検討

- ・広報資料を広く活用するため、推進協議会ポータルサイトからいつでもデータをダウンロードできるようにした。

6) 取り組み評価軸（進捗確認）

本取り組みの進捗について、令和4年度に設定した評価のめやすに照らし合わせて確認した。（なお、評価年は中間年：令和7(2025)年、目標年：令和12(2030)年に設定されている。）

評価軸		R3	R4	R5	備考
作成資料の配布・展示回数		15回	29回(累積)	48回(累積)	配布・展示場所の詳細は推進協議会ポータルサイト「活動履歴」のページに掲載
推進協議会広報資料数		15回	20種(累積)	34種(累積)	現行で使用できるものを集計
推進協議会の認知度		—	34／260人 (13.1%)	62／532人 (11.7%)	アンケート調査より「推進協議会を知っている」人の割合
アンケート 回収数	1.イベント	—	232票・3回	441票・6回	令和6年2月末現在
	2.チラシ	—	28票	91票	
	4.小学生	—	0票	51票	
	3.WEB	—	—	—	評価年の令和7(2025)年度に調査実施

※ロードマップにおけるプラン④の基準年は令和3年度

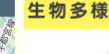
 学識経験者
 関係市町
 県
 河川管理者
 民間企業
 地域住民
 事務局
 プラン④-2/3

- ・これまでの活動履歴や広報資料などを関係者間で共有することや、一般に向けて広く広報するためのポータルサイトの運用を開始した。

▼「広報資料」ページの申請フォームからイラスト素材ダウンロードURL取得可能（プラン②③再掲）

▶ 「荒川流域マップ」のページでは、推進協議会が作成したgoogleマイマップの閲覧が可能。また、生きもの生息地等の情報が豊富な埼玉県生物多様性センターへのリンクを掲載

2023（令和5）年度（4月1日～翌年3月末）		
●5月	3日（水・祝）	■よしみ環境フェア（吉見町） ※ブース出展
	14日（日）	■こうのと里マルシェ（鴻巣市） ※ブース出展
	14日（日）	■元荒川カヌー教室（鴻巣市） ※資料提供
	28日（日）	■歩け歩け大会&清掃ウォーク（吉見町） ※取材および資料配布
	28日（日）～6月18日（日）	■地球温暖化防止パネル展（吉見町） ※ブース出展
	一日	■春の美化活動（北本市） ※資料提供
●6月	25日（日）	■エコネット里山の生きもの調査体験会 ※主催イベント ▶チラシ
▶ 告知・広報に関する情報		



**埼玉県
生物多様性地図情報**

- ・クビアカ発見大調査スマホで報告公開版
- ・クビアカツツカミキリマップ
- ・埼玉県におけるマスカットの確認地点
- ・さいたまサクラMap
- ・アライグマ捕獲マップ
- ・埼玉県緑のトラスト保全地
- ・埼玉県自然公園・自然環境保全地域等



埼玉県生物多様性センター
Saitama Biodiversity Center

荒川流域を含む埼玉県内で確認できる生きものは、生物多様性センターのホームページからご確認いただけます
(市民参加による調査も実施中！)

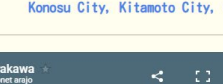
(画像をクリックすると、埼玉県生物多様性センターのホームページに移動します)

▲「活動履歴」のページでは、これまでの推進協議会の活動内容や、協議会関係者から提供いただいた活動情報、関係者等から発信いただいた情報などの確認が可能

英語圏の方に向けた
観光案内リンク集▶

- Visit site for details -

Konosu City, Kitamoto City, Okegawa City, Yoshimi Town and Kawajima Town are located in Saitama Prefecture.



Konosu City 鴻巣市	Yoshimi Town 吉見町
Saitama Tourism Support Desk ▶https://saitama-supportdesk.com/	CHOKOTABI SAITAMA ▶https://en.chokotabi-saitama.com/
▶https://www.konosu-kanko.jp/pickup/english-guide.html	▶https://www.town.yoshimi.saitama.jp/kanko/bunka/koko/index.html
Kitamoto City 北本市 Select language after accessing the site. ▶https://www.city.kitamoto.jp/ja/kanko/11432.html	Kawajima Town 川島町 Select language after accessing the site. ▶https://www.town.kawajima.saitama.jp/1517.htm
Okegawa City 桶川市 Select language after accessing the site. ▶https://okekan.com/	Safety tips for travelers ▶https://www.jinto.co.jp/safety-tips/eng/index.html

◀ その他、流域のイベント等を確認できる「流域カレンダー」や、関係者のホームページやSNS等を確認できる「リンク集」などを掲載

推進協議会ポータルサイトURL

<https://sites.google.com/view/anaaportal/>

荒川流域エコネット NEWS 第2号 (2024.2)

里山の自然力を調査 今年も生きもの調査 体験会を開催しました

【第1回】荒川流域エコネット自然観察会
【第2回】2024年5月10日(土) 19:30
【第3回】2024年7月(未定)

今年も生きもの調査体験会を開催しました。

今年も自然観察会の開催です。コナツトリも里山の自然を調査し、生きもの調査体験会を開催しました。今年も生きもの調査体験会を開催しました。今年も生きもの調査体験会を開催しました。

今年も生きもの調査体験会を開催しました。今年も生きもの調査体験会を開催しました。今年も生きもの調査体験会を開催しました。

今年も生きもの調査体験会を開催しました。今年も生きもの調査体験会を開催しました。今年も生きもの調査体験会を開催しました。

荒川流域エリアで 生きものについて学ぼう

荒川流域エリアには、豊かな自然環境のおかげで生きものについて学べるイベントや、生きものが増える機会が増えてくる機会もたくさんあります。

埼玉環境科学館の二階へ 埼玉環境科学館の二階へ

埼玉環境科学館の二階へ。埼玉環境科学館の二階へ。埼玉環境科学館の二階へ。

「里山」をモデルに整備されたビオトープ(生物多様性)で学ぶ

「里山」をモデルに整備されたビオトープ(生物多様性)で学ぶ。「里山」をモデルに整備されたビオトープ(生物多様性)で学ぶ。

「田園風景」を再現したコナツトリもある動物園で学ぶ

「田園風景」を再現したコナツトリもある動物園で学ぶ。「田園風景」を再現したコナツトリもある動物園で学ぶ。

「生きもの」を学ぶ機会を！

「生きもの」を学ぶ機会を！「生きもの」を学ぶ機会を！「生きもの」を学ぶ機会を！

「生きもの」を学ぶ機会を！

「生きもの」を学ぶ機会を！「生きもの」を学ぶ機会を！「生きもの」を学ぶ機会を！

「生きもの」を学ぶ機会を！

「生きもの」を学ぶ機会を！「生きもの」を学ぶ機会を！「生きもの」を学ぶ機会を！

「生きもの」を学ぶ機会を！

「生きもの」を学ぶ機会を！「生きもの」を学ぶ機会を！「生きもの」を学ぶ機会を！

「生きもの」を学ぶ機会を！

「生きもの」を学ぶ機会を！「生きもの」を学ぶ機会を！「生きもの」を学ぶ機会を！

「生きもの」を学ぶ機会を！

「生きもの」を学ぶ機会を！「生きもの」を学ぶ機会を！「生きもの」を学ぶ機会を！

「生きもの」を学ぶ機会を！

「生きもの」を学ぶ機会を！「生きもの」を学ぶ機会を！「生きもの」を学ぶ機会を！

「生きもの」を学ぶ機会を！

「生きもの」を学ぶ機会を！「生きもの」を学ぶ機会を！「生きもの」を学ぶ機会を！

「生きもの」を学ぶ機会を！

「生きもの」を学ぶ機会を！「生きもの」を学ぶ機会を！「生きもの」を学ぶ機会を！

「生きもの」を学ぶ機会を！

「生きもの」を学ぶ機会を！「生きもの」を学ぶ機会を！「生きもの」を学ぶ機会を！

「生きもの」を学ぶ機会を！

「生きもの」を学ぶ機会を！「生きもの」を学ぶ機会を！「生きもの」を学ぶ機会を！

令和5年度の取り組みを紹介するためのニュースレター第2号

SNS投稿で 缶バッジプレゼント

ハッシュタグ

#荒川エコネット

をつけてSNS投稿した画面を
スタッフへ見せいただくと
缶バッジをプレゼント！
(写真の有無は問いません)

① あらかじめお名前、
外実名について
下さい！
#荒川エコネット

② あらかじめお名前……

対象SNS：  Instagram、 X(旧Twitter)、 Facebook






缶バッジデザイン（4種のうち1つをお選びください）※サイズは全て65mmです

荒川流域エコネット地域づくり推進協議会

荒川にもコウノトリがいるんですね！
知見！

#荒川エコネット

11/11 SAITAMA環境フェア
(上尾市)

※10/22こうのとりのマルシェでは
3名の方がSNS投稿してくだ
さったが、他2名は鍵アカウン
トのため確認不可であった

10/22 こうのとりのマルシェ
(鴻巣市)

←イベント参加者様による推進協議会の取り組みを広げていただくためのSNS投稿依頼チラシ
(特典としてアンケート回答特典とは別のデザイン・サイズの缶バッジをプレゼント)



WEBアンケートのご協力をお願いします

今後開催するイベントや、プレゼント企画などの参考にいたします

←こちらのQRコードをスマートフォンやタブレットで読み取り、アンケートにお答えください



アプリ不要です

端末情報が収集されることはありません

※2分くらいで終わる、簡単な内容です

Q. 本物のコウノトリをみたことがありますか？

ある！

Q. 荒川流域エコネット地域づくり推進協議会を知っていましたか？

…はじめて知った



アンケート
回答者限定

ご希望の方には
缶バッジをプレゼント！





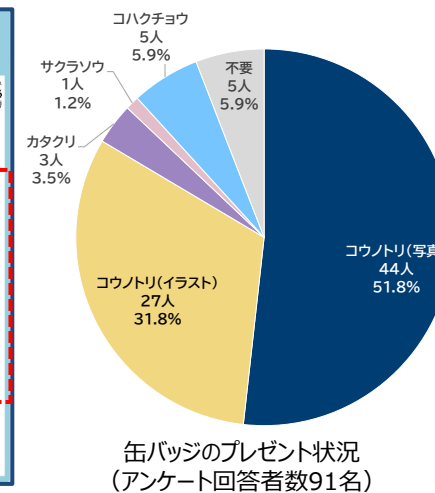
6種類の中から1つ選んでね

- ・ご希望の方のみ、アンケート内で名前等を入力いただきます
- ・入力いただいた個人情報は缶バッジの郵送にのみ使用します

缶バッジ不要の方も、ぜひご意見などをお寄せください

(アンケート最後の質問に、自由回答欄がございます)

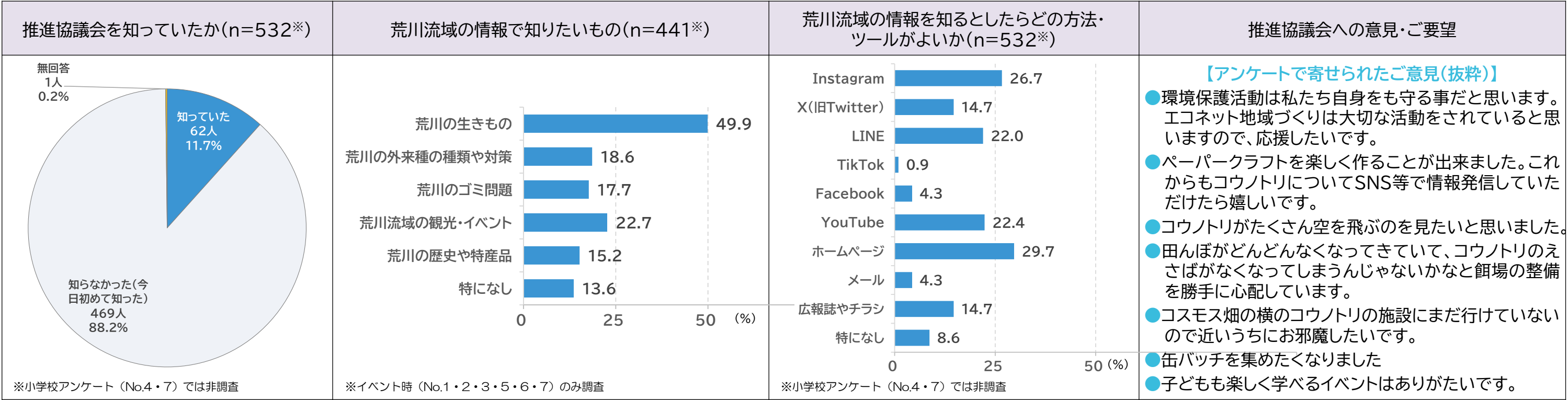
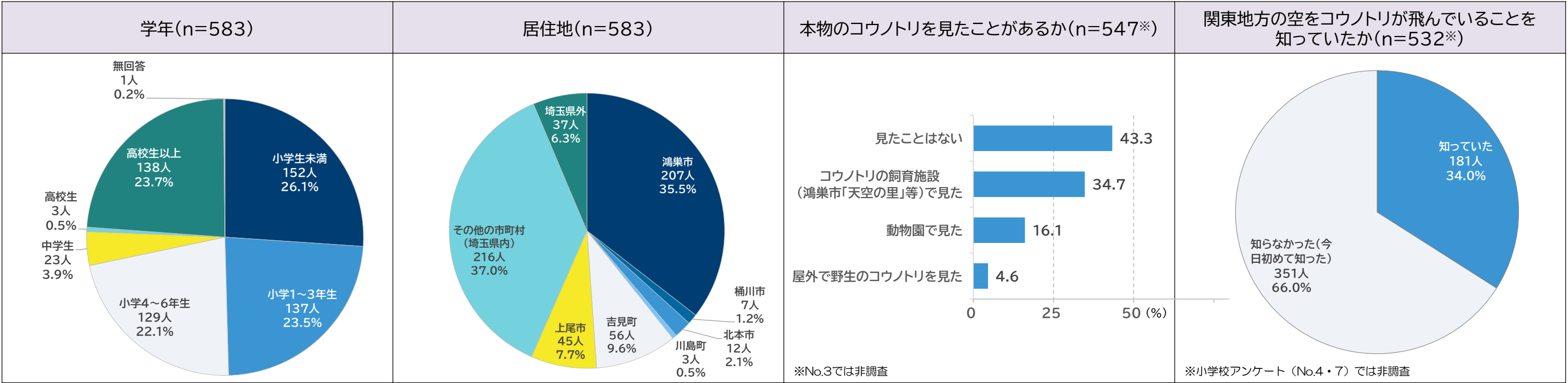
缶バッジデザイン追加（プラン③再掲）を反映し、
チラシアンケートの回答特典となる缶バッジの選択肢を追加
（チラシはコウノトリペーパークラフトとセットで配布中）



No.	実施形態	アンケート実施期間	タイトル	地域	場所	回答数
1	1.イベントアンケート	令和5年5月3日	第1回よしみ環境フェア2023	吉見町	フレサよしみ	54
2	1.イベントアンケート	令和5年5月14日	こうのと里マルシェ	鴻巣市	天空の里	48
3	1.イベントアンケート	令和5年6月25日	エコネット里山の生きもの調査体験会	吉見町	八丁湖周辺	36
4	3.小学校アンケート	令和5年9月26日	外来種・生物多様性をテーマにした小学校出前講座	吉見町	吉見東第二小学校	7
5	1.イベントアンケート	令和5年10月22日	こうのと里マルシェ	鴻巣市	天空の里	107
6	1.イベントアンケート	令和5年11月11日・12日	SAITAMA環境フェア&こどもエコフェスティバル	上尾市	イオンモール上尾	148
7	1.イベントアンケート	令和6年1月28日	こうのと里マルシェ	鴻巣市	天空の里	48
8	3.小学校アンケート	令和5年8月～令和6年3月	小学校アンケート	荒川流域	鴻巣市・吉見町の小学校	44
9	2.チラシアンケート	令和5年4月1日～令和6年3月	チラシアンケート	荒川流域	イベントや流域内施設で配布	91
回答数合計(N)						583



イベントでのアンケート回答の様子



（1）目指すもの

プラン⑤「エコツアーの推進支援」

◎エリア内において、自然環境を活用した地域観光が実施されていること（新たな集客要素の提供による地域活性化への貢献）。

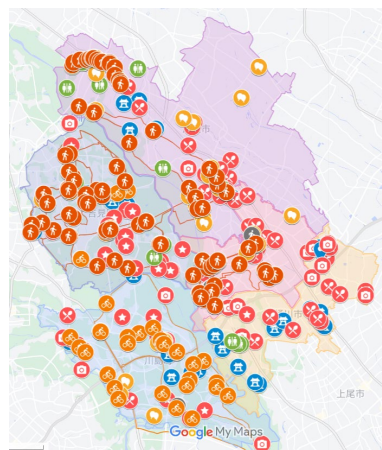


（2）本年度の活動結果（令和5年度）

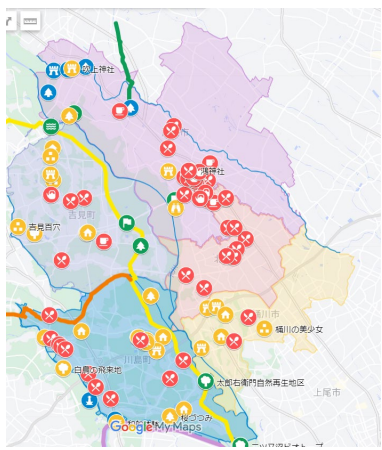
1）流域共通マップの一般公開に向けた検討

①エコツアー推進のための一般公開マップ第1弾（案）の作成

前年度活動でピックアップした歴史・観光スポットや散歩コース等を、観光客や自転車愛好家の観点から整理。埼玉県第2次自転車活用推進計画が策定されたことも踏まえ、既存のサイクリングルートを利用しつつ、5市町の見どころにもアプローチできる一般公開マップの作成を検討した。



前年度



今年度

掲載内容の整理



②マップの活用の狙い

- ・国内外から訪れた人々がエコネットエリアを楽しみながら巡ることができる観光情報ツールとしての活用
- ・サイクリング等を楽しむ人々が、生き物やその生息場に興味が持てるような、寄り道・発見ツールとしての活用
- ・現地で、あるいは現地に行かずともエコネットエリアの歴史・治水・環境等の情報が学べるツールとしての活用

③マップの継続的な活用に向けて

今後も新たな魅力的なサイト等を更新していくことで、マップの継続的な活用が想定されるため、引き続きマップへ掲載する情報のご提供をお願いしたい。

④今後の予定

- ・ 今後は、以下の流れでマップの一般公開を進めていく。

・協議会関係機関での試験運用

・ 下記ポータルサイトで試験運用を実施
URL:<https://sites.google.com/view/anaaportal/>

・荒川上流河川事務所HPでの一般公開

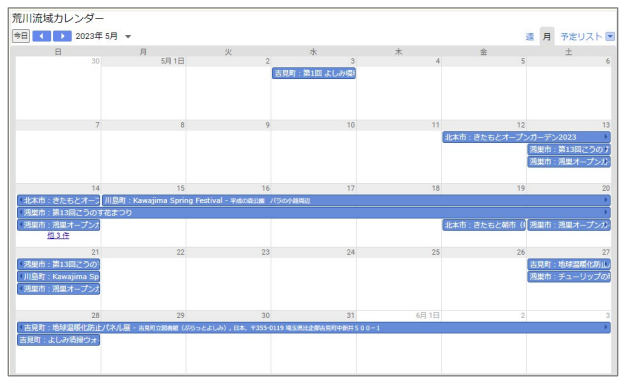


参考）遠賀川河川事務所HP（左）と遠賀川マップ（右）

・各自治体・団体等の広報媒体へのリンク掲載（依頼）

2）観光振興に関する取り組み情報の共有

- ・各自治体・団体等で実施される観光振興の取り組みについて、会議の場での共有のほか、ポータルサイト（プラン④再掲）に情報を掲載した。



●「関東エコロジカル・ネットワーク10周年シンポジウム」開催

関東エコロジカル・ネットワーク推進協議会の10年間の取組や成果を振り返るとともに、2030年の中期目標実現に向けた展望を語り合い、思いを共有する場としてシンポジウムが開催されます。

▶実施概要（詳細は国土交通省関東地方整備局のサイトをご確認ください【外部サイト】）

- 日時：令和5年11月23日（木・祝）13：30～16：10
- 場所：野田市役所8階・大会議室（千葉県野田市鶴幸7番地の1）

▲ イベント情報をポータルサイトへ掲載
◀ 各自治体のイベント等を収集し、WEBカレンダーに整理してポータルサイトに掲載

3）取り組み評価軸（進捗確認）

本取り組みの進捗について、令和4年度に設定した評価のめやすに照らし合わせて確認した。（なお、評価年は中間年：令和7(2025)年、目標年：令和12(2030)年に設定されている。）

評価軸	R4	R5	備考
流域共通マップ閲覧数	—	0	
ニュースレターによる流域内観光施設・イベント紹介	1回	1回	

※ロードマップにおけるプラン⑤の基準年は令和5年度

(1) 目指すもの

プラン⑥「関係者間のネットワーク支援」

◎エリア内において、自然環境・地域振興に取り組む地域関係者間の新たな連携・交流が図られ、各自の取り組み発展に寄与していること。



17
パートナーシップで
目標を達成しよう

(2) 本年度の活動結果（令和5年度）

1) 環境系団体・観光系団体の活動情報の収集

・環境系及び観光系団体の活動情報について、各種WEBサイトやメーリングリスト等（埼玉県SDGs官民連携プラットフォームからの提供情報やSAITAMAリバーサポーターズ（埼玉県水環境課））から収集した。

【埼玉県SDGs官民連携プラットフォーム 及び SAITAMAリバーサポーターズ登録団体】



出典：桐山工業株式会社HP

桐山工業株式会社（鴻巣市）の
市内清掃活動のようす



出典：株式会社川村建設工業HP

株式会社川村建設工業（北本市）の
市内清掃活動のようす



出典：日本釣振興会 埼玉県支部HP

日本釣振興会 埼玉県支部（桶川市）
は清掃活動や「埼玉県公園釣り場ガイド」
の作成などを実施

【埼玉県SDGs官民連携プラットフォーム登録団体】



出典：マルキュー株式会社HP

マルキュー株式会社（桶川市）による水辺
環境保全のための釣り場清掃活動のようす



出典：埼玉環境カウンセラー協会HP

埼玉環境カウンセラー協会が開催する
「環境保全講習会」のようす

【SAITAMAリバーサポーターズ登録団体】



出典：日本財団HP

吹上清流の会（鴻巣市）によるカヌーを利用した水上清掃活動やイベント開催を実施



出典：SAITAMAリバーサポーターズHP

埼玉県SDGs官民連携プラットフォーム会員
やリバーサポ企業サポーターが参加する
「SAITAMAリバーサポーターズプロジェクト企業サポーター勉強会」のようす

●関東エコ・ネット連携イベントでのパネル展示

関東エコロジカル・ネットワーク推進協議会の取り組みとして、2023年7月～2024年2月にかけて、コウノトリ飼育施設等でパネル展示が実施されています。

▶実施例（※当推進協議会のパネル（右写真左下）も展示されています）

- 企画名：「おしえて！コウノトリ～エコネットってどんなこと？～」パネル展
- 場所：埼玉県こども動物自然公園（「森の教室」内）
- 主催：埼玉県こども動物自然公園
- 展示期間：8/11（金・祝）～10/9（月・祝）

2023年度 関東エコ・ネット連携イベント「おしえて！コウノトリ」情報【外部サイト】

関東エコ・ネット10周年企画による活動情報は推進協議会ポータルサイトへ掲載



2) 関係者間のネットワーク支援のためのツール活用方策検討

・関係者間の活動情報を把握するためのWEBカレンダーや、活動予定を案内するためのポータルサイト（プラン④再掲）の運用を開始した。

流域関係者からのお知らせ

※事務局へご連絡いただいた情報です。追加の情報提供や調整依頼について随時受け付けております。なお、終了した企画については「活動履歴」のページにまとめております。

推進協議会や各自治体の出展イベント等で展示・配布したい資料がある場合は、事務局補助係へご連絡ください。

・2023年10月22日(日)	こうのとりのマルシェ(鴻巣市)	▶詳細情報(鴻巣市HP)	※推進協議会ブース出展予定
・2023年10～11月(日付未定)	綾瀬川クリーン大作戦(桶川市)		
・2023年11月3日(金・祝)	環境まつり(吉見まつり内)(吉見町)	▶吉見まつりについて(吉見町HP)	※推進協議会資料提供予定
・2023年11月11日(土)・12日(日)	SAITAMA環境フェス&こどもエコフェスティバル(上尾市)	▶詳細情報(埼玉県HP)	※CES&推進協議会が出展予定
・2023年11月(日付未定)	森のつどい(桶川市)		
・2024年1月(日付未定)	こうのとりのマルシェ(鴻巣市)		
・2024年3月(日付未定)	こうのとりのマルシェ(鴻巣市)		
・2024年3月(日付未定)	探検！発見！雑木林！～ヤマで遊んでみよう～(桶川市)		

推進協議会ポータルサイトで関係者から提供いただいた活動予定情報を掲載

・吉見町からの呼びかけをきっかけに、複数の関係者が参加した「よしみ環境フェア」の好事例を参考に、推進協議会のイベント出展時には関係者へ情報共有のうえ、提供いただいた資料の展示を行った。



10/22 こうのとりのマルシェ(鴻巣市)

出展に際して提供いただいた吉見町のイベント広告や、関東エコ・ネットシンポジウムポスター等を展示

埼玉県イベントでも、関東エコ・ネットの資料を提供いただき、ポスター展示及びチラシ配布を実施



11/12 SAITAMA環境フェア(上尾市)

推進協議会出展ブースでの資料展示状況

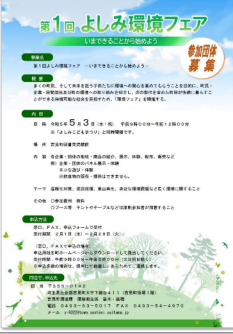
第1回よしみ環境フェア【初開催】 - 令和5年度事業 -

開催日 令和5年5月3日
※こどもまつり同時開催

場所 図書館交流館前

内容 各企業・団体の取組・商品の紹介、展示、体験等

当協議会、県市町からのご参加お待ちしております。



第5回推進協議会で呼びかけいただいた「よしみ環境フェア」への参加案内

3) 取り組み評価軸（進捗確認）

本取り組みの進捗について、令和4年度に設定した評価のめやすに照らし合わせて確認した。（なお、評価年は中間年：令和7(2025)年、目標年：令和12(2030)年に設定されている。）

評価軸	R4	R5	備考
関係者間の連携・交流状況（会議やイベントの回数等）	10回	15回	地域交流として、県市町・団体等が実施する行事・活動に推進協議会が参加・協力（行事出展等）した回数（P12参照）
SNS上での環境系・観光系団体・本協議会の取り組みに関する言及の投稿数	5件	7件	令和6年2月末現在

※ロードマップにおけるプラン⑥の基準年は令和4年度

【参考】令和3年度～令和5年度連携状況

【連携状況凡例】●：主催・共催 ●：参加 ○：資料提供のみ実施

年度 (複数連携数)	実施内容及び期間	タイトル	地域	場所	規模	活用資料	連携状況									備考
							協議会	鴻巣市	桶川市	北本市	吉見町	川島町	埼玉県	その他	関係機関数	
令和3年度 (5回)	令和3年5月25日	小学生の田植え体験	北本市	緑のトラスト保全第8号地	－	チラシ類	○			●					1	
	令和3年7月20日	水田調査体験会	鴻巣市	鴻巣市コウノトリ野生復帰センター周辺	約25名	チラシ・ポスター・現場掲示物類	●	●						●	3	浅枝座長、高木委員(講師)、伊藤委員(講師)参加
	令和3年8月6日	スクミリンゴガイ駆除活動	吉見町	江和井集会所周辺	－	チラシ類、缶バッジ	●				●				2	
	令和3年10月15日～12月7日	推進協議会ロゴマーク一般投票	荒川流域	関係自治体等の14施設	1,326名参加	ポスター	●	●	●	●	●	●	●	●	9	埼玉県こども動物自然公園、アリオ上尾でも実施
	令和3年10月	越辺川を守る会 河川清掃・外来種対策の連携促進に向けた意見交換	川島町	越辺川周辺	－	チラシ類	○					●			1	
	令和3年11月25日	荒川クリーン活動	桶川市	樋詰橋周辺	－	チラシ類、缶バッジ	●		●						2	
	令和3年3月21日	ペーパークラフトワークショップ	上尾市	アリオ上尾	45名以上参加	チラシ・ポスター・現場掲示物類、動画	●							●	2	共催:アリオ上尾
令和4年度 (10回)	令和4年4月29日	ペーパークラフトワークショップ	上尾市	アリオ上尾	27名以上参加	チラシ・ポスター・現場掲示物類、動画	●							●	2	共催:アリオ上尾
	令和4年5月～6月	春の美化活動	北本市	北本市内	－	チラシ類	○			●					1	
	令和4年5月28日～6月12日	地球温暖化防止パネル展2022	吉見町	ぶらっとよしみ	－	チラシ・ポスター類	●				●				2	
	令和4年6月3日	よしみGK作戦	吉見町	道の駅いちごの里よしみ周辺	約50名参加	チラシ類、缶バッジ	●				●				2	
	令和4年6月19日	榎戸堰公園清掃活動	鴻巣市	榎戸堰公園	－	チラシ類	○	●							1	
	令和4年7月25日	ジャンボタニシ駆除活動	吉見町	江和井集会所周辺	約40名参加	チラシ類、缶バッジ	●				●				2	
	令和4年7月26日	エコネット生きもの調査体験会	鴻巣市	天空の里	33名参加	チラシ・ポスター類、缶バッジ	●	●							2	
	令和4年8月6日	2022夏休み特別企画	加須市	埼玉県環境科学国際センター	－	(撮影取材のため活用資料なし)	●						●		2	
	令和4年9月18日～9月25日	2022シルバーウィーク特別企画	加須市	埼玉県環境科学国際センター	－	チラシ・ポスター類	●						●		2	
	令和4年10月22日・23日	こうのと里マルシェ	鴻巣市	天空の里	160名以上参加	チラシ・ポスター類、缶バッジ、学習教材	●	●							2	
	令和4年10月27日～10月30日	日比谷公園ガーデニングショー	千代田区	日比谷公園	－	ペーパークラフト	○							●	1	業務受注業者が出展時にブース内で資料配布
	令和5年2月12日	鴻巣 元荒川 ミニロゲイニング大会	鴻巣市	コスモスアリーナふきあげ	127名参加	チラシ・ポスター・現場掲示物類	●							●	2	主催:吹上清流の会(鴻巣市)
	令和5年3月18日	YOSHIMIRAIいちご祭り ～苺一会～	吉見町	フレサ吉見	約3,000名来場	チラシ・ポスター・現場掲示物類、缶バッジ、学習教材	●				●				2	
令和5年度 (15回)	令和5年5月3日	よしみ環境フェア	吉見町	フレサ吉見	75名以上参加	チラシ・ポスター・現場掲示物類、缶バッジ、学習教材	●	●			●		●		4	・参加関係者(埼玉県):CESS
	令和5年5月14日	こうのと里マルシェ	鴻巣市	天空の里	85名以上参加	チラシ・ポスター類、缶バッジ、学習教材	●	●							2	
	令和5年5月14日	元荒川カヌー教室	鴻巣市	榎戸堰公園	－	チラシ類	○	●							1	
	令和5年5月28日	歩け歩け大会&清掃ウォーク	吉見町	吉見百穴～吉見観音	30名参加	チラシ類、缶バッジ	●				●				2	
	令和5年5月28日～6月18日	地球温暖化防止パネル展2023	吉見町	ぶらっとよしみ	－	チラシ・ポスター類	●				●				2	
	令和5年5月	春の美化活動	北本市	北本市内	－	チラシ類	○			●					1	
	令和5年6月25日	エコネット 里山の生きもの調査体験会	吉見町	八丁湖公園	44名参加	チラシ・ポスター類、缶バッジ	●				●				2	
	令和5年7月5日	ジャンボタニシ駆除活動	吉見町	江和井集会所周辺	約45名参加	チラシ	●				●				2	
	令和5年8月19日	水辺の生きもの調査体験会 in 川里	鴻巣市	川里中央公園周辺	約20名参加	チラシ	●	●							2	
	令和5年9月16日～25日	埼玉県環境科学国際センターシルバーウィーク特別企画	加須市	環境科学国際センター	－	チラシ・ポスター類	●						●		2	
	令和5年9月26日	外来種・生物多様性をテーマにした出前講座	吉見町	吉見東第二小学校	5名参加	チラシ・ポスター類、缶バッジ、学習教材	●				●				2	
	令和5年10月13日	吉見町中学校清掃活動	吉見町	吉見町内	－	チラシ	○				●				1	
	令和5年10月22日	こうのと里マルシェ	鴻巣市	天空の里	110名以上参加	チラシ・ポスター類、缶バッジ、学習教材	●	●			○			○	2	資料提供:吉見町、関東地方整備局 河川部
	令和5年11月3日	環境まつり(吉見まつり内)	吉見町	フレサ吉見	－	チラシ	○	●		●	●				3	
	令和5年11月10日	荒川クリーン活動	桶川市	樋詰橋周辺	19名参加	－	●		●						2	
	令和5年11月11・12日	SAITAMA環境フェア&こどもエコフェスティバル	上尾市	イオンモール上尾	150名以上参加	チラシ・ポスター類、缶バッジ、学習教材	●						●	●	4	・主催:埼玉県環境政策課、イオンモール上尾 ・参加関係者:CESS ・資料提供:関東地方整備局 河川部
	令和5年11月14日	北小学校放課後こども教室(出前講座)	吉見町		30名	チラシ	○				●				1	
	令和5年11月24日	南小学校放課後こども教室(出前講座)	吉見町		20名	チラシ	○				●				1	
	令和5年12月16日	「森に学ぼう」プロジェクトin埼玉 よしみ	吉見町	八丁湖公園	約100名	チラシ・ポスター類、缶バッジ	●				●			●	3	・主催:コカ・コーラ ボトラーズジャパン ・共催:吉見町
	令和6年1月28日	こうのと里マルシェ	鴻巣市	天空の里	75名以上参加	チラシ・ポスター類、缶バッジ、学習教材	●	●			●		●	●	5	・参加関係者:CESS、埼玉県こども動物自然公園

7. 地域関係者による本年度取り組み事例（情報共有）

（1）生物の生息環境保全に関する取り組み事例

1）生きもの調査に関する取り組み

- 埼玉県では、2013年にクビアカツヤカミキリ（特定外来生物）によるサクラ被害が初確認された。この被害防止と注意喚起の情報発信とともに、2018年より県民参加型の調査「クビアカツヤカミキリ発見大調査」を実施、本年度にも県内から広く情報提供を募る調査を継続している。また、見分け方や「サクラの外来害虫“クビアカツヤカミキリ”被害防止の手引き」などの情報発信を行っている。【埼玉県環境科学国際センター】
- 市内各地の水田・水路において、コウノトリ餌生物の資源量調査を実施している。【鴻巣市】

2）ゴミ・外来種問題に関する取り組み

- 各市町・団体において、市内・町内清掃のほか、地域連携による河川清掃を行っている（p3再掲）。【各県市町・団体】
- 町内水田において、スクミリングガイ駆除活動を実施している（p3再掲）。【吉見町】
- 広報紙やホームページを活用して、特定外来生物アライグマやオオキンケイギク駆除の啓発を行っている。【各県市町】

3）環境学習・観察会に関する取り組み

- コウノトリ野生復帰センター「天空の里」主催により、鴻巣市内の水田・ビオトープ等において、生物の観察会・調査体験会やバグホテル作成体験等を開催（令和5年7～8月）。【鴻巣市】
- 北本自然観察公園内のセラピーロードにおいて、森林セラピーを体験する定期的なツアーや各種イベントを開催。【北本市】
- 市民団体と連携して水生生物を対象とした親子自然観察会を開催（令和5年7月）。市内小中学校を対象に地球温暖化防止・生物多様性等に関する出前講座を実施（令和5年9～11月）。【吉見町】
- 埼玉県環境科学国際センターにおいて、夏休み（7～8月）とシルバーウィーク（9月）に、自由研究のヒントになるイベントやネイチャーゲームや自然観察、リサイクル工作教室などを行う特別企画を開催。【環境科学国際センター（加須市）】
- 埼玉県自然学習センターにおいて、定期的な自然観察会や、季節に応じたイベント（植物・野鳥観察、オリエンテーリング、門松づくりや写真展など）を開催。【埼玉県自然学習センター（北本市）】



バグホテル作成の様子
鴻巣市 虫たちの家を作ってみよう！
（天空の里 夏休み企画）



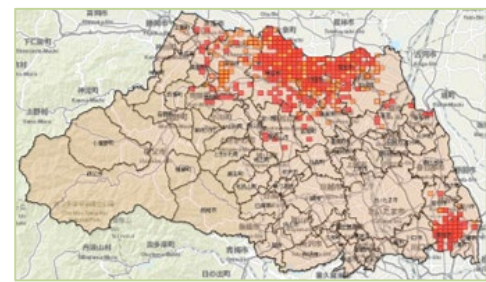
森deヨガ体験の様子
北本市 森林セラピーツアー
（きたもと森林セラピーHPより）



ネイチャーゲームを楽しむ参加者の皆さん
埼玉県環境科学国際センター
（シルバーウィーク特別企画）

4）その他の取り組み等

- 荒川中流部（大間地区）においてコウノトリ等の多様な生物が生息・生育できる湿地環境の再生整備を進めている。【荒川上流河川事務所】
- 令和5年7月に鴻巣市川里地域にコウノトリ野生個体3羽の飛来が確認され、インターネットニュースなどに取り上げられた。
- 令和5年、渡良瀬遊水地（栃木県小山市）のほか、茨城県神栖市、行方市の関東地域3箇所においてコウノトリの野外繁殖が確認された。



R3年度までにクビアカツヤカミキリ
による被害が確認された地域
（埼玉県環境科学国際センターHPより）



オオキンケイギク駆除啓発
（桶川市HPより）

（2）経済活性化・地域振興に関する取り組み事例

1）広報に関する取り組み

- 流域関係者の各公式ホームページ及び各種公式SNSから様々な広報が行われている【各県市町】
- ▶出典及び広報例
- ・鴻巣市HP：Instagramの観光大使募集
- ・北本市Twitter：テレビ放送案内
- ・桶川市Facebook：祇園祭の動画公開案内
- ・川島町LINE：ランタン祭案内
- ・吉見町Youtube：プロモーション動画公開



2）エコツアーに関する取り組み

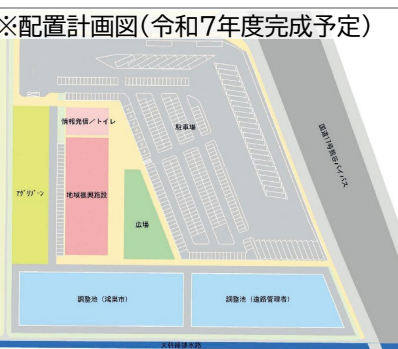
- 広報コンクール2年連続の受賞を記念し、未来に向かって北本の地域やフィールドの魅力を市民と一緒に考える催し『&green Day』が初めて開催された【北本市】
- エコツーリズムの結節点や観光・防災拠点となることが期待される道の駅の整備が進められている【桶川市・鴻巣市】



&greenmarket（北本市HPより）



※完成イメージ(令和6年度開業予定)
（仮称）道の駅おけがわ（桶川市HPより）



※配置計画図(令和7年度完成予定)
（仮称）道の駅こうのす（鴻巣市HPより）

3）関係者間のネットワーク支援に関する取り組み

- 吉見町から流域関係者へ「よしみ環境まつり」への参加を促し、5月開催時には鴻巣市や埼玉県環境科学国際センターがブース参加、11月開催時には鴻巣市と北本市のゆるキャラ参加によるコラボが実現した。【吉見町、北本市、埼玉県】
- 関東エコロジカル・ネットワーク10周年企画として、コウノトリ飼育施設（動物園等）や関係施設が主催する連携イベント「おしえて！コウノトリ」が開催された。また、イベント参加者には記念品としてカードが配布されている。【各県市町】



生物の生息環境保全に関するプランに関する次年度計画（案）

アクションプラン			取り組みの推進	
項目	目指すもの（10年後）	取り組み内容（例）	令和5年度 主な活動内容	令和6年度 活動方針（素案）
（プラン①） 合同生きもの 調査の実施	◎エリア内の環境データが蓄積され、各種取り組みの検討・実施に役立っていること。 ◎また、調査の実施を通じ、 <u>取り組み認知度が向上（理解者・賛同者の増加）</u> していること。	◎関係者各自で実施している水辺の調査を、連携・協力（相互参加や技術交流等）により盛り上げます。 ◎関東エコネットで公表されているコウノトリ採餌量調査の手引きを活用するなどし、各地域の河川・農地等における統一した手法による調査実施を支援します（調査体験会の運営補助や機材の貸出し等）。	1）生物調査に関する情報収集 ・協議会関係者を対象に生物調査の実施状況について情報収集・情報共有を行った。 ・それらの結果も踏まえ、取り組み評価に活用できるよう、荒川流域エリアの生物データベース作成を進めた。 2）調査体験会の開催 ・河川～水田～森林の連続性を学ぶ調査体験会を実施した。また、その後に発展した森林保全活動を支援した（吉見町八丁湖周辺）。 ・上記の活動結果はニュースレターにとりまとめるなどし、関係者間の情報共有を図った。	1）調査体験会を開催する。また、水田の動物量調査の各自実施を呼びかける。〔継続〕 ⇒意見交換：調査体験会の回数・場所について（体験会のフィールドとして、鴻巣市の明用・小谷・川里、吉見町の八丁湖周辺を推薦いただいている）。 2）各県市町・団体における調査データを収集するとともに、それらを活用した生物データ整理（流域DBの構築）を進める。〔継続〕 ⇒意見交換：調査データの提供・共有・活用に関する意見等について。
（プラン②） ゴミ・外来種問題 への対応	◎エリア内において、環境美化活動とともに、 <u>外来種駆除活動が実施（実施回数・場所の増加）</u> されるようになること。	◎関係者各自で実施している清掃活動（プラスチックごみ対策など含め）や外来種駆除対策を、連携・協力（相互参加や技術交流等）により盛り上げます。 ◎清掃時等にも活用できる外来種駆除の手引きを作成・配布するなどし、各地域の河川・農地における外来種対策を支援します。	1）清掃活動・外来種駆除に関する情報収集、および連携支援 ・協議会関係者を対象に清掃活動・外来種駆除の実施状況について情報収集・情報共有を行った。 ・上記行事の一部において啓発資料の配付等を行った。 2）ゴミ・外来種対策の連携促進に関する検討 ・外来種パンフレットを更新（アカミミガメ、アメリカザリガニの条件付特定外来生物指定）した。また、ペット遺棄防止の啓発を目的とした教材ゲームを作成し、小学校への出前講座などで活用した。 ・プラスチックごみ問題啓発のための教材を更新（わかりやすく改良）し、地域の環境系行事で活用した。	1）各県市町・団体による清掃活動や外来種駆除活動において、作成した啓発用資料や教材を活用する。（各県市町・団体等へ資料送付するとともに、一部、事務局が参加・解説する。）〔継続〕 ⇒意見交換：連携可能な行事（資料・教材の活用等）について。 2）ごみ・外来種問題の連携促進に向けた意見交換を継続する。 ⇒意見交換：ごみ・外来種対策について困っていること（今後の活動ニーズ等）について。〔継続〕
（プラン③） 環境学習・観察会 の推進支援	◎エリア内において、 <u>環境学習・自然観察会が、いまより広く・数多く実施され、地域の学習機会が増えていること。</u> ◎また、それにより <u>取り組み認知度が向上（理解者・賛同者の増加）</u> していること。	◎関係者各自で実施している環境学習会や自然観察会を、連携・協力（相互参加や技術交流等）により盛り上げます。 ◎本プランで挙げた指標種・シンボル種の学習・観察会の実施を支援（開催の運営補助やテキストや機材の貸出し等）します。	1）環境学習・観察会に関する情報収集、および連携支援 ・協議会関係者を対象に環境学習・観察会の実施状況について情報収集を行った。 ・上記行事の一部において関連資料の配付等を行った。 2）小学校と連携した教育・普及に関する検討 ・小学校と連携した教育・普及の実施について、各市町と意見交換を行った。	1）各県市町・団体による環境学習・観察会において、作成した啓発用資料や教材を活用する。（各県市町・団体等へ資料送付するとともに、一部、事務局が参加・解説する。）〔継続〕 ⇒意見交換：連携可能な行事（資料・教材の活用等）について。 2）小学校と連携した教育・普及の推進〔継続〕 ⇒意見交換：各市町の小中学校への缶バッジ・啓発資料の配付の促進について（鴻巣市・吉見町以外の小中学校等で活用いただくためのアイデア等）。
（ベースとなる取り組み） これまでの活動継続	協議会関係者が、河川や農地、里山林、公園等でこれまでに実施してきた各種取り組みを、それぞれ、引き続き推進する。		●生物調査、清掃活動、外来種駆除活動、環境学習・観察会などの適宜実施（実施状況は上記プラン①～③において情報収集した）。 ●その他、鴻巣市によるコウノトリ野生復帰センター公開、埼玉県生物多様性センターの開設（調査研究や関連行事の実施等）など。	●各県市町・団体等における各自取り組みの推進〔継続〕 ●協議会における上記取り組み情報の共有〔継続〕

8. 次年度の活動計画（案）

地域振興・経済活性化に関するプランに関する次年度計画（案）

アクションプラン			取り組みの推進	
項目	目指すもの（10年後）	取り組み内容（例）	令和5年度 主な活動内容	令和6年度 活動方針（素案）
（プラン④） 各種広報の 展開	◎エリア内において、取り組み認知度が向上し、荒川流域エコネット地域づくりへの新たな理解者・賛同者・参加者が増えていること。	◎関係者各自で実施している環境関連の催事や拠点等を、連携・協力（相互参加や技術交流、エリア共通カレンダーの整理等）により盛り上げます。 ◎荒川流域エコネット地域づくりの取り組みや、地域の活動・魅力に関する広報を推進（ロゴマークやPR資料の検討・作成、それらを活用した行事出展等）します。	1）広報資料活用 ・流域関係者の協力のもと、各種イベント等への出展・参加及び広報資料の展示・配布を行った。 2）荒川流域エコネット地域づくりに関する情報発信 ・流域関係者の協力による情報発信や、ポータルサイトを活用した情報発信を行った。 3）流域住民アンケート調査 ・実施計画に基づきイベント等でアンケート調査を実施した。 4）ニュースレター作成・配信 ・推進協議会関係者からのご意見聴取や流域内のイベント等の取材活動を行いながらニュースレター第2号（案）を作成した。 5）ファイル共有システムの活用方策検討 ・活用方策のひとつとして、ポータルサイトからいつでも広報資料のデータをダウンロードできるようにした。	1）作成した広報資料（動画・パネル）の各自治体・団体の拠点施設、イベントでの展示を行う。〔継続〕 2）各自治体・団体等の広報媒体によるエコネットに関する情報発信（必要に応じて事務局を通じて発信）を行う。〔継続〕 ⇒意見交換：次年度以降、継続あるいは新規に広報展示・情報発信を行いたいイベント等について。 3）プランの評価指標とするための住民アンケート調査を実施する。〔継続〕 4）各自治体・団体等の取り組みに関するニュースレターの作成・発信をお願いする（必要に応じて事務局を通じて発信）。〔継続〕 ⇒意見交換：次年度以降のNL作成方法（部分作成等）について。 5）ポータルサイトの活用・改善を行う。〔新規〕 ⇒意見交換：情報の追加や改善内容について。
（プラン⑤） エコツアーの 推進支援	◎エリア内において、自然環境を活用した地域観光が実施されていること（新たな集客要素の提供による地域活性化への貢献）。	◎関係者各自で実施している観光振興の対策を、自然の恵みを活用して支援します。 （例：自然観察スポット、特産品（コウノトリのエサ資源にもなるドジョウ等）、サイクリング・ウォーキングマップ等の関連情報の収集・整理・発信、観光スポットの生態的な価値に関する情報提供、自治体同士の連携によるスタンプラリー、森林セラピー等）	1）流域共通マップの一般公開に向けた検討 ・サイクリングルートを作成した。 2）観光振興に関する取り組み情報の共有 ・関係者から提供いただいた観光振興に関する取組みや、WEBサイトなどから収集した情報を整理した。	1）Google マイマップの活用に向けた検討を引き続き実施する（必要に応じて関係者との意見交換を実施）。〔継続〕 ⇒意見交換：Google マイマップの活用に関するご意見等について。 2）各自治体・団体等で実施される観光振興の取り組みについて、告知情報や結果広報の共有をお願いする（事務局を介した情報共有）。〔継続〕 ⇒意見交換：各自治体・団体等での観光振興に関する取り組みの予定、内容等について。 3）荒川流域エリアの周遊観光を促す取り組みの検討を行う。〔新規〕
（プラン⑥） 関係者間の ネットワーク支援	◎エリア内において、自然環境・地域振興に取り組む地域関係者間の新たな連携・交流が図られ、各自の取り組み発展に寄与していること。	◎さまざまな場所・機会において、個人や市民団体、企業、自治体等の地域関係者間の連携促進を図ります。 （例：流域情報の収集・整理・発信、交流会・発表会や人材紹介による地域関係者同士の連携・交流の促進、情報共有のためのSNS活用等）	1）環境系団体・観光系団体の活動情報の収集 ・各種WEBサイトなどから情報収集・整理を行った。 2）関係者間のネットワーク支援のためのツール活用方策検討 ・関係者の活動予定をポータルサイトに掲載するほか、推進協議会出展イベント等で連携協力の呼びかけを行った。	1）環境系団体・観光系団体の活動情報の収集を行う。〔継続〕 2）関係者間のネットワーク支援のための取組みやポータルサイト活用検討。〔継続〕 ⇒意見交換：ネットワーク支援に関するその他メニュー（案）やアイデアなどについて。
（ベースとなる取り組み） これまでの活動継続	協議会関係者がこれまでに実施してきた、環境に配慮した地域振興に関する各種取り組み（観光・商業・地域連携等）を、それぞれ、引き続き推進する。		●各自治体・団体等における各自取り組みの推進、および推進協議会における上記取り組み情報の収集・共有 ●取り組み効果分析に関する検討（経済的な価値・便益等）	●各県市町・団体等における各自取り組みの推進〔継続〕 ●協議会における上記取り組み情報の共有〔継続〕